



日本身体障害者補助犬学会 第11回学術大会

The 11th Annual Meeting of the Japanese Society of Service Dog Research

世界を翔る補助犬使用者
-2020 オリパラに向けて-

協賛募集要綱

主催：日本身体障害者補助犬学会

ご挨拶

身体障害者補助犬は視覚障害者、聴覚障害者、肢体不自由者にとって自立と社会参加のための有効な手段の1つです。わが国では平成14年に身体障害者補助犬法が成立、施行され、補助犬の普及に対する取り組みが徐々に進んで参りました。身体障害者の自立と社会参加を補助犬により、さらに推進するためには、補助犬の育成、使用等に対する医学・獣医学・法学・社会福祉学等の専門分野からの調査・研究を継続していくことが必要です。そこで補助犬の普及発展を願う学識経験者が集まり、日本身体障害者補助犬学会が平成17年に世界で初めて設立されました。

今回で本会は早や11回目を数えることとなりますが、かたやわが国での大きなイベントとして「東京オリンピック・パラリンピック」が2020年に開催されます。パラリンピックに参加される方やサポートされる方で補助犬使用者である方はもちろん、このイベントのために世界中から来られる方で補助犬を使用される方も多数我が国に足を運ばれることと思います。そこで今回はテーマを「世界を翔る補助犬使用者 -2020オリパラに向けて- 」としました。来日される多くの方は飛行機を利用されることになるとと思いますが、補助犬使用者が飛行機を利用するときに空港での課題はどうかということをお今回のテーマの一つとして掲げ、会場を成田国際空港とさせていただきました。またアクセスも飛行機、バス、成田エクスプレス等の公共交通機関で容易にお越しいただけることも魅力になるかと思えます。

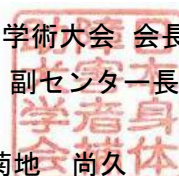
シンポジウムとしてはオリンピック・パラリンピックに関連する企画を検討しており、パラリンピアンや障害者スポーツドクター等からご発表いただき、2020年に向けての障害者スポーツのあり方を考えてみたいと思っています。また市民公開講座を検討しており、空港という一般の方々が利用される立地で補助犬に対する認知度を高められるような企画を考えています。一般演題では従来通り、盲導犬、聴導犬、介助犬に関する様々な分野からの学術研究を募集しますので、皆様から多数の応募を期待しています。

以上の様々な企画を準備して参加される方をお待ちしております。10月に皆様に成田国際空港でお会いできることを楽しみにしています。

2018年8月吉日

日本身体障害者補助犬学会第11回学術大会 会長
千葉県千葉リハビリテーションセンター 副センター長

菊地 尚久



開催概要

1. 開催趣旨

身体障害者補助犬が2002年5月22日に成立してから14年、未だその認知度は低く同伴拒否はなくなり、補助犬法の認知度はむしろ低くなっていると危惧される傾向も見受けられます。

犬は最も古くからの人間の伴侶動物として生活を共にして来た動物です。

補助犬は障がい者にとって心の支えとなり、生きがいともなり、機能的自立を支えるに留まらず、精神的安定やエンパワメントにもつながるところが、道具とも介助者による介助ともまったく異なる大きな効果といえます。より多くの専門職、そして一般の方々に、補助犬の素晴らしさと、身体障害者補助犬法のことを知って頂くとともに、

「障害者差別解消法」と補助犬についても今大会のテーマとして、より積極的に社会全体で考える契機としたい。

2. テーマ「世界を翔る補助犬使用者 -2020オリパラに向けて-」

3. 主催、後援等（予定）

主 催：日本身体障害者補助犬学会 第11回学術大会

後 援：厚生労働省、国土交通省、千葉県（予定）、成田市、

身体障害者補助犬を推進する議員の会、

公益社団法人日本獣医師会、一般社団法人日本小動物獣医師会、

公益社団法人日本動物病院協会、公益社団法人日本リハビリテーション医学会、

公益社団法人日本看護協会、公益社団法人日本理学療法士協会、

一般社団法人日本作業療法士協会、一般社団法人日本義肢装具士協会、

一般社団法人日本車椅子シーティング協会、

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会、

（公社）千葉県医師会、千葉県獣医師会、東京都獣医師会、

一般社団法人千葉県理学療法士会、一般社団法人千葉県作業療法士会、

一般社団法人千葉県言語聴覚士会、

一般社団法人千葉県医療ソーシャルワーカー協会

特別協力：成田国際空港株式会社

協 力：日本航空株式会社、全日本空輸株式会社、

公益財団法人日本盲導犬協会、社会福祉法人日本介助犬協会、

公益財団法人日本聴導犬推進協会

（順不同）

4. 会期：

平成30年10月6日（土）～ 7日（日）

5. 会場及び所在地：

学術大会：成田国際空港第2ターミナル 4階 有料待合室 A-2, A-3

（住所：千葉県成田市古込1-1）

6. 学術大会参加対象、人数：

学術大会プログラム 300名

補助犬訓練事業者、認定法人、補助犬使用者、医療従事者、福祉関係者、獣医師、
行政関係者、教育関係者、その他

市民向けプログラム（10月6日） 一般市民 300名

7. 参加費：

学術大会プログラム

会 員：5,000円（事前登録は4,000円）

学生会員：3,000円（事前登録は2,000円）

一 般：5,000円

一般学生：3,000円

市民向けプログラム 参加費：無料

8. プログラム委員

大会長 菊地 尚久	リハビリテーション科医師・医学博士 千葉県千葉リハビリテーションセンター 副センター長
委 員 秋田 裕	理学療法士 日本身体障害者補助犬学会 理事長 神奈川県理学療法士協会 顧問
児玉 真一	義肢装具士 横浜市総合リハビリテーションセンター 研究開発課
高柳 友子	リハビリテーション科医師・医学博士 日本身体障害者補助犬学会 理事 社会福祉法人日本介助犬協会 専務理事
丹治 千尋	理学療法士 千葉県千葉リハビリテーションセンター リハビリテーション療法部
山本 真理子	帝京科学大学 生命環境学部 アニマルサイエンス学科 講師
森戸 崇行	社会福祉士 千葉県千葉リハビリテーションセンター 総合療育センター 療育支援部

（順不同）

9. プログラム（予定）

【1 日目：午後 3 時～】 於：第 2 ターミナル 3F スカイリウム（ステージ）

市民向け公開講座（15:00-17:00）

- 15:00-15:05（5 分） キャラクター紹介
（成田空港 クータン、チーバくん、千葉リハキャラクター、エルくん）
- 15:05-15:10（5 分） オープニング 大会長挨拶
- 15:10-15:15（5 分） 来賓挨拶
- 15:15-15:25（10 分） アスリート発表者講演「パラアイスホッケー平昌五輪に参加して」
東京アイスバーンズ所属 南雲啓佑選手

補助犬使用者のお話 スポーツと私（15:30-16:15）

- ＜盲導犬使用者 フリーダイビング 世界大会に挑戦して＞
- 15:30-15:40（10 分） 浅野まりさん & 盲導犬ベえべ
- ＜介助犬使用者 パラカヌー、パラバドミントン、アダプティブサーフィン＞
- 15:45-15:55（10 分） 我妻進之さん & 介助犬グレープ（パラカヌー、パラバドミントン）
- 16:00-16:10（10 分） 藤原智貴さん & 介助犬ダイキチ（アダプティブサーフィン）

補助犬デモンストレーション（16:15-17:00）

- 16:15-16:30（15 分） 公益財団法人 日本盲導犬協会
- 16:30-16:45（15 分） 社会福祉法人 日本介助犬協会
- 16:45-17:00（15 分） 公益財団法人 日本聴導犬推進協会
- 17:00-17:30（30 分） 懇親会会場へ移動
- 17:30- 懇親会 於：第 2 駐車場ビル（南）2F 有料待合室

【2 日目：午前 9 時～午後 5 時】 於：第 2 ターミナル 4F 有料待合室 A-2, 3

＜午前＞

- 09:00-09:05（5 分） 開会挨拶（大会長 菊地尚久）
- 09:05-09:10（5 分） 来賓挨拶
- 09:10-09:40（30 分） 大会長講演「リハビリテーション医としてオリパラにかける期待」
菊地尚久（リハビリテーション科医師・医学博士
千葉県千葉リハビリテーションセンター 副センター長）
- 09:40-10:10（30 分） 基調講演「パラリンピック帯同医として思うこと」
羽田康司（筑波大学 医学医療系リハビリテーション部 准教授）
- 10:10-11:50（100 分） 一般演題① 現状・普及・開発・育成（発表 6 分・質疑 2 分＝12 名）
- 11:50-11:55（5 分） 学会賞表彰式
- 11:55-12:15（20 分） 総会

12:15-13:15（60 分） 昼休憩

【2日目：午前9時～午後5時】 於：第2ターミナル 4F 有料待合室 A-2,3

<午後>

シンポジウム 「世界の補助犬の動向と我が国の取り組み」(13:15-16:05)

座長 大会長 菊地尚久（千葉県千葉リハビリテーションセンター副センター長・医学博士）
高柳友子（日本身体障害者補助犬学会理事・医学博士）

13:15-13:30（15分） 厚生労働省の取り組み

厚生労働省 障害保健福祉部 自立支援振興室 福祉用具専門官 秋山仁

13:30-13:40（10分） 農林水産省動物検疫の取り組み

農林水産省動物検疫担当 （予定）

13:40-14:00（20分） 外国からの「サービスドッグ」同伴受け入れにおける現状と課題

医学博士 日本身体障害者補助犬学会理事
社会福祉法人 日本介助犬協会 専務理事 高柳友子

14:00-14:10（10分） 海外補助犬ユーザー受け入れ調査報告

日本身体障害者補助犬学会理事・NPO法人 補助犬情報センター 吉田文

14:10-14:20（10分） 海外補助犬ユーザー受け入れ実績と今後の取り組み

公益財団法人 日本盲導犬協会 専務理事 吉川明

14:20-14:30（10分） 海外補助犬ユーザー受け入れ実績と今後の取り組み

社会福祉法人 日本聴導犬協会 理事長 有馬もと

14:30-14:40（10分） 航空会社の身体障害者補助犬への対応

神戸大学大学院 保健学研究科 リハビリテーション科学領域 准教授 三浦靖史

14:40-14:50（10分） 世界のサービスドッグの現状と輸入検疫に関する現状調査

帝京科学大学 生命環境学部 アニマルサイエンス学科 講師 山本真理子

14:50-15:20（30分） 総合討議・質疑応答

15:20-16:00（40分） 一般演題発表② 効果/影響（発表6分・質疑2分＝4名）

16:00-16:05（5分） 次回大会長挨拶（予定）

※上記プログラムは変更の可能性があります。あらかじめご了承ください。

追加企画（予定）

第一弾 補助犬利用者向け成田国際空港体験ツアー

日本身体障害者補助犬学会では2020年のパラリンピックを迎えるに当たり、空港利用や航空機利用に不安があり、空の旅を楽しめずにいる方が、成田国際空港を身近に感じて下さるようになるよう、また成田国際空港から飛行機の旅で日本中、あるいは世界への旅に出かけられるようになることを応援することを目的として、日本航空株式会社・全日本空輸株式会社のご協力のもと“補助犬利用者向け成田国際空港体験ツアー”を開催することにいたしました。

企 画 名 : 補助犬利用者向け成田国際空港体験ツアー

開 催 日 時 : 2018年10月6日（土）午後2時から4時（予定）

会 場 : 成田国際空港 第1および第2ターミナルビル

内 容 : 補助犬とともに、出発受付カウンターから航空機搭乗橋を通り、航空機付近まで移動しながら航空会社職員から空港内の施設等について説明を受けるツアーです。

募 集 人 員 : 介助者含めて15名程度

第二弾 リハビリテーションセンターってどんなところ？

- ・千葉県千葉リハビリテーションセンター見学ツアー
- ・補助犬を知ろう、補助犬同伴受け入れセミナー

上記を開催予定。誠意準備を進めております。

（補助犬学会第11回大会参加者及び補助犬学会会員限定企画、同大会ご協賛企業・団体限定企画です！）

※追加企画に関しましては、詳細が決まり次第別途ご案内いたします。

協賛募集要項

1. 募集内容

- 1 口のお申し込みで以下 4. に記載の媒体のうち (2)、(3) に社名・団体名を掲載いたします。
- 2 口以上のお申し込みで 4. (1) ～ (3) 全てに掲載し、口数に応じてロゴマークサイズを変更いたします。2 口以上のお申し込みをできる限りお願い申し上げます。

2. 協賛料金

1 口 : 50,000 円 (税込み)

3. 募集期間

2018 年 6 月 1 日 (金) ～10 月 31 日 (水)

※大会当日の看板への掲載は、9 月 20 日 (木) までのお申し込みが対象となります。

4. 協賛団体、企業様の表示方法、媒体

(1) 会場ステージへの社名表示

- ・市民向けプログラム開催時に、会場ステージ後方に企業ロゴマーク、社名を掲載した看板を設置。

掲載イメージは下記をご参照ください。



(左から：本大会 1 日目会場ステージ、第 7 回大会協賛スクリーン、第 8 回大会協賛看板)

※イメージのため、実際のサイズ・掲載形式は異なります。

(2) 学術大会中スクリーンへの掲載

- ・学術大会開催会場において、プログラム開始前後にスクリーンに協賛企業ロゴマーク、社名を掲載

(3) 大会ホームページでのバナー掲載

- ・掲載期間：2018 年 6 月 1 日 (金) ～2018 年 10 月 31 日 (水)

※掲載開始はお申し込み後、データをいただき、設定以後の掲載となります。

- ・掲載場所：日本身体障害者補助犬学会 第 11 回学術大会ホームページの「協賛申込」の頁
<http://www.procomu.jp/jssdr2018/>
- ・閲覧対象者：本学会会員、演題応募者、事前参加登録者、一般市民

ホームページへのバナー広告の希望有無を申込みフォームにご記入ください。

ご希望をいただいた場合には、リンク先、掲載バナーデータについて運営事務局からお伺いします。

(掲載バナーデータはご用意願います)

5. 学術大会抄録集（学会誌【日本補助犬科学研究】）への社名掲載）

募集口数は下記の通りです。

- ① 広告 A4 版抄録集 1 ページサイズ（4 色）
（掲載頁は表 4（裏表紙）） 募集口数（5 口）250,000 円（1 社）
- ② 広告 A4 版抄録集 1 ページサイズ（1 色）
（掲載頁は表 3（裏表紙の前ページ）） 募集口数（3 口）150,000 円（1 社）
- ③ 広告 A4 版抄録集 1 ページサイズ（1 色）
（掲載頁は表 2（表紙の次ページ）） 募集口数（4 口）200,000 円（1 社）

注）掲載頁の表 4・表 3・表 2 に関しては、お申込多数の場合各 1 社のみ先着順とさせていただきますのでご了承ください。

- ・お申し込み締切：2018 年 8 月 31 日
- ・本大会講演抄録集に、協賛企業・団体として応募企業・団体名を記載します。
- ・発行日：2018 年 10 月 6 日（予定）
- ・発行部数：500 冊
- ・配布対象：日本身体障害者補助犬学会会員、非会員購入者（約 400 名）

6. 透明性ガイドラインに関する同意について

本学会では、本学術総会（協賛金）に関して、各社の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドラインに関する指針」に基づいて情報公開することに同意いたします。なお、別途同意書への押印・サインは控えさせていただきますので、予めご了承ください。

このほか、ご協賛企業への特典となる追加企画として補助犬セミナー開催等を予定しております。詳細は随時ご案内申し上げます。

7. そのほかのご協賛方法

＜ネームカード用ストラップとホルダー協賛＞

- ・ネームカード用ストラップとホルダーの提供
協賛会社様の負担によりご提供おねがいします。デザイン、形状等は事前に主催者側にご相談ください。
- ・配布対象者のご提供希望個数
本学会参加者を対象といたしまして 300 個を希望いたします。
- ・募集数：1 社限定
- ・申込み締切日：2018 年 8 月 31 日

＜コンgresバッグ協賛＞

- ・ コンgresバッグの提供
協賛会社様の負担によりご提供をおねがいします。デザイン、形状等は事前に主催者側にご相談ください。
- ・ 配布対象者のご提供希望個数
本学会参加者を対象といたしまして 300 個を希望いたします。
- ・ 配布場所
学会総合受付にて参加者に配布予定です。
- ・ 募集数：1 社限定
- ・ 申込み締切日：2018 年 8 月 31 日

＜ドリンク協賛＞

- ・ 提供希望本数：300 本/社
- ・ 申込み締切日：2018 年 8 月 31 日
注) 本数やご提供飲料種類に関しては具体的に別途お打合せさせていただくこととなりますのでよろしく御願いたします。

＜労務提供＞

会 期： 2018 年 10 月 7 日(日)
注) 労務により時間が変動しますのでご了承下さい。

時 間： 8：00～18：00（予定）

労 務 内 容： 総合受付（金銭取扱い除く）、誘導、クローク等

総要請人数： 10 名程度

依 頼 社 数： 5 社

貴社依頼数： 1～2 名（会期期間中）

＜各種協賛申し込み方法及び協賛金振込口座＞

1. 各種協賛金申し込み方法

下記サイトより必要事項をご記入の上、お申し込みください。

<https://procom-i.jp/jssdr2018sponsor3/>

注）後日、別枠の協賛（例：最初にステージ掲載を申し込まれて、後日、抄録集掲載も申し込む場合等）をお申し込みされる場合は、同様に上記サイトよりお申し込みください。

注）本会議への参加資格について

御協賛いただきました皆様に対しては本学術大会の講演会場および関連プログラムへの参加資格はありません。参加を希望される場合は別途参加申込を行って下さい。展示会場への出展者の入場制限はありません。

（連絡先）

日本身体障害者補助犬学会 第11回学術大会運営事務局

（株式会社プロコムインターナショナル内）

〒135-0063 東京都江東区有明三丁目6番地11 TFTビル東館9階

TEL 03-5520-8821 FAX 03-5520-8820

電子メール：jssdr11@procomu.jp

2. 協賛金振込口座

＜口座名義（漢字）＞

日本身体障害者補助犬学会第11回学術大会

＜口座名称（カナ）＞

ニホンシンタイショウガイシャホジョケンガツカイダイジュウイッカイガクジュツタイカイ

【ゆうちょ銀行より振込む場合】

■記号番号 02730-6-103071

【他銀行より振込む場合】

■銀行名 ゆうちょ銀行

■店番 279

■預金種目 当座

■店名 二七九 店（ニナナキュウテン）

■口座番号 0103071

過去の学術大会

第 1 回

大会長：竹前 栄治（東京経済大学 名誉教授）

開催日時：平成 18 年 1 月 29 日（日）

開催場所：国立身体障害者リハビリテーションセンター学院講堂

第 2 回

大会長：池本 卯典（日本獣医生命科学大学 学長）

開催日時：平成 19 年 6 月 23 日（土）・24 日（日）

開催場所：日本獣医生命科学大学

第 3 回 メインテーマ：「人と犬の絆・補助犬」

大会長：山崎 薫（日本身体障害者補助犬学会 理事、学校法人 ヤマザキ学園 理事長・学長）

開催日時：平成 21 年 10 月 17 日（土）・18 日（日）

開催場所：ヤマザキ動物看護短期大学

第 4 回 メインテーマ：「より永く、より幸せに～補助犬に求められる獣医学～」

大会長：鷺巣 月美（日本獣医生命科学大学 獣医学部 臨床病理学教室 准教授）

開催日時：平成 23 年 10 月 29 日（土）・30 日（日）

開催場所：日本獣医生命科学大学

第 5 回 メインテーマ：「身体障害者補助犬法：次の 10 年に向けての提言」

大会長：三浦 靖史（神戸大学大学院 保健学研究科 准教授）

開催日時：平成 24 年 10 月 27 日（土）・28 日（日）

開催場所：宝塚ソリオホール

第 6 回 メインテーマ：「補助犬のウェルビーイング～健康と福祉を考える～」

大会長：林 一彦（日本大学松戸歯学部 特任教授）

開催日時：平成 25 年 10 月 26 日（土）・27 日（日）

開催場所：日本大学 松戸歯学部 校舎棟

第 7 回 メインテーマ：「人にも動物にもやさしい社会をめざして ～2020 年に向けて～」

大会長：高柳 友子（日本身体障害者補助犬学会 理事（医学博士））

開催日時：平成 26 年 9 月 20 日（土）・21 日（日）

開催場所：中部国際空港セントレア

第 8 回 メインテーマ：「補助犬が拓く 楽しい旅、やさしい社会 ～2020 年に向けて～」

大会長：秋田 裕（日本身体障害者補助犬学会 理事長）

開催日時：平成 27 年 10 月 31 日（土）・11 月 1 日（日）

開催場所：羽田空港 国際線旅客ターミナル 4F TIAT SKY ホール

第 9 回 メインテーマ：「ユニバーサル社会と補助犬 ～障害者差別解消法をふまえて～」

大会長：神沢 信行（甲南女子大学 看護リハビリテーション学部 教授）

開催日時：平成 28 年 10 月 29 日（土）・30 日（日）

開催場所：神戸大学 先端融合研究 環統合研究拠点 コンベンションホール

第 10 回 メインテーマ：「補助犬の福祉を考える～幸せな使用者を支える幸せな犬たち～」

大会長：山崎 恵子

（一般社団法人日本聴導犬推進協会 副理事長、特定非営利活動法人日本補助犬情報センター 副理事長）

開催日時：平成 29 年 10 月 28 日（土）・29 日（日）

開催場所：アオーレ長岡 市民ホール A

過去の学術大会写真記録

第7回学術大会（2014年）実施報告（ご参考）

●市民公開講座 9月20日



スペシャルトーク 安藤 美姫さん 大日方 邦子さん
補助犬デモスペシャルトーク 狩野 亨さん

講演 9 月 21 日

●学術大会

＜基調講演 スーザン・ダンカン看護師 元ナショナルサービスドッグ所長講演＞



＜シンポジウム＞

「すべてのお客様に快適なおもてなしを ～私達の取り組み～」

「補助犬受け入れの取り組みと今後について」

黒沢 直子氏

日本航空プライオリティ・ゲストセンター

「テーマパークにおける補助犬受け入れと今後について」

野口 浩一氏

株式会社オリエンタルランド CS推進部

「中部国際空港のユニバーサルデザイン」

荒尾 和史氏

中部国際空港株式会社 取締役執行役員、空港運用本部長



＜航空関係者向け車椅子セミナー＞



第8回学術大会（2015年）実施報告(ご参考)

10月27日 航空関係者向け補助犬受け入れセミナー
羽田空港 ANA ホール



10月31日 補助犬デモンストレーション
羽田空港国内線第1旅客ターミナルビル 2階「マーケットプレイス」



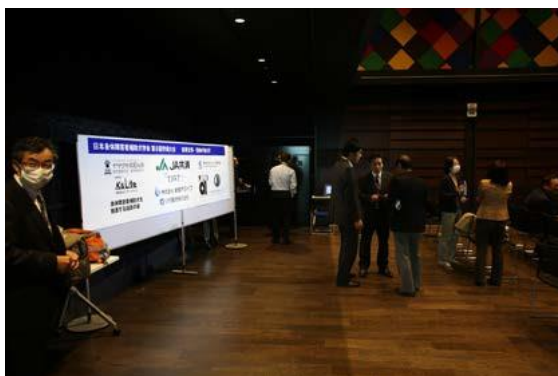
10月31日 補助犬デモンストレーション
羽田空港国際線旅客ターミナルビル 4階「江戸舞台」スペシャルゲスト 安藤美姫さん



10月31日 補助犬使用者向け 羽田空港体験ツアー



11月1日 学術大会講演



<シンポジウム>

演 者：田中 穂積氏（日本旅行協会 バリアフリー旅行部会 部会長）
「障害者差別解消法と旅行業界の対応」

垣内 俊哉 氏（株式会社ミライロ代表取締役社長、
一般社団法人 日本ユニバーサルマナー協会 代表理事）
「旅行業界におけるユニバーサルマナー」

大槻 正伸 氏（ANA おからだの不自由な方の相談デスク 主席部員）
「おからだの不自由なかたへの空の旅へのお手伝い」



指定発言：介助犬使用者 佐藤美樹&介助犬・いろは